

平成 30 年度の教育に関する
事務の点検及び評価報告書

令和元年 11 月

糸魚川市教育委員会

目 次

Ⅰ 教育に関する事務の点検及び評価の実施概要		
1 点検と評価の趣旨	…	1
2 点検及び評価の方法	…	1
3 学識経験者の知見の活用	…	2
Ⅱ 教育委員会の運営及び活動状況		
1 教育委員会の構成	…	3
2 教育委員会会議開催状況	…	3
3 総合教育会議	…	3
4 教育委員会の主な活動状況	…	4
Ⅲ 施策の点検・評価		
第1 0歳から18歳までの一貫した子育てと教育の推進		
1 妊娠出産支援と親子の健康	…	5
2 子育て支援の充実	…	11
3 就学前教育の充実	…	16
4 質の高い学校教育の推進	…	19
5 学校等教育環境の整備	…	26
第2 生涯学習の充実		
1 社会教育の充実	…	31
2 スポーツ環境の充実	…	38
第3 文化の振興		
1 芸術文化の振興	…	43
2 歴史・文化の継承と活用	…	48

I 教育に関する事務の点検及び評価の実施概要

1 点検と評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

糸魚川市教育委員会では、教育に関する事務の点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付して報告することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政に対する市民の信頼の向上を図ります。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の方法

(1) 点検及び評価の対象

点検及び評価は、糸魚川市教育委員会が執行している事務・事業のうち、「第2次糸魚川市総合計画 基本計画」に掲げた施策を中心に行いました。

(2) 点検及び評価の方法

評価の実施方法については、「第2次糸魚川市総合計画 基本計画」の中で掲げる指標の達成状況や、対象年度の取組内容などを踏まえながら、各事業を3段階で評価し、評価理由と今後の課題解決に向けた取組について示し、点検及び評価を行いました。

評価	評価基準
順調	目標のとおり達成した、または、計画通り進んでいる。
おおむね順調	概ね目標を達成した、または、目標達成に向け進んでいる。
遅れている	目標を下回った、または、計画に遅れが生じている。

3 学識経験者の知見の活用

法の規定に基づく、教育に関し学識経験を有する方からの知見の活用として、協議会を開催して、施策の取組に関しての総合的な評価としてご意見をいただき、今後の取組に活用しています。

教育委員会協議会の開催

日 時：令和元年9月27日（金）午前10時～午後4時

場 所：糸魚川市役所 201.202 会議室

学識経験者：高橋 守

教 育 長：井川 賢一

教 育 委 員：永野 雅美 轟本 修一

谷口 一之 塚田 京子

事 務 局：教育次長、こども課長、こども教育課長、生涯学習課長
文化振興課長

Ⅱ 教育委員会の運営及び活動状況

教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行します。定例会や臨時会ほか、協議会を開催しています。

1 教育委員会の構成

平成31年3月31日現在

職名	氏名	任期
教育長	井川 賢一	平成31年1月1日～平成33年12月31日
教育長職務代理者	永野 雅美	平成29年5月20日～平成33年5月19日
教育委員	楠田 昌樹	平成27年5月20日～平成31年5月19日
教育委員	鶴本 修一	平成28年5月20日～平成32年5月19日
教育委員	谷口 一之	平成30年5月20日～平成34年5月19日

2 教育委員会会議開催状況

定例会を12回、臨時会を4回開催し、議案69件、協議6件、報告30件について審議等を行いました。議案69件の内訳は、人事案件38件、予算に関する意見の申出5件、条例・規則等の改正14件、その他12件となっています。

また、協議会を開催し、平成29年度の教育に関する事務の点検及び評価を行いました。

3 総合教育会議

市長と教育委員会が協議あるいは調整を行う場として「総合教育会議」が2回開催されています。下記議題等について協議し、意見交換を行いました。

開催年月日	会場	議題等
平成30年12月26日	糸魚川市民会館	第1回 ・高校を核とした地域人材育成事業 ・糸魚川市が設置する学校に係る部活動の方針（案）
平成31年2月20日	市役所会議室	第2回 ・児童虐待防止対策 ・学力の向上

4 教育委員会の主な活動状況

(1) 教育関係会議への出席

- ・ 全県教育長会議（新潟市：4月19日）
- ・ 全国都市教育長協議会定期総会（岩手県一関市：5月16日～18日）
- ・ 新潟県都市教育長協議会春季定期総会（十日町市：5月21日）
- ・ 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会（見附市：7月13日）
- ・ 新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（村上市：10月16日）
- ・ 上越地方三市教育委員会連絡会総会（妙高市：10月30日）

(2) 学校等訪問

- ・ 4月26日 糸魚川小学校（学力向上研修会）
- ・ 5月24日 南能生小学校、中能生小学校
- ・ 5月29日 能生中学校、糸魚川東中学校
- ・ 5月30日 磯部小学校、能生小学校、下早川小学校
- ・ 6月8日 大和川小学校、木浦小学校
- ・ 6月11日 大和川小学校（学力向上研修会）
- ・ 9月25日 青海小学校（学力向上研修会）

(3) 式典等への出席

- ・ 教育委員会年度始めの式（4月2日）
- ・ 転入、新採用教職員辞令交付式（4月2日）
- ・ 市立学校入学式（4月6日、4月7日）
- ・ 成人式（5月3日）
- ・ 教育懇談会（7月6日、2月1日）
- ・ 磯部小学校創立50周年記念式典（10月28日）
- ・ ジオパーク学習交流会（11月16日）
- ・ 早寝早起きおいしい朝ごはん市民講座（12月8日）
- ・ 市立学校卒業式（3月5日、3月20日、3月28日）
- ・ 教職員退職感謝状伝達式（3月28日）

(4) 先進地等の視察

- ・ 北条小学校・北条中学校、柏崎市こころの相談支援課、柏崎市立教育センター【柏崎市】（7月23日）

Ⅲ 施策の点検・評価

第1 0歳から18歳までの一貫した子育てと教育の推進

1 妊娠出産支援と親子の健康

- (1) 出産・育児満足の実環境づくり
- (2) 子どもと保護者の健康の増進

【基本方針】

出産、育児の満足度の高いまちを目指すとともに、健康づくりの土台を幼少期までに定着させ、遊びの推進、生活リズムの改善など健康づくりを行います。

1 施策指標

指標	現状(H27※)	中間目標(R1)	最終目標(R5)
子どもとふれあう努力をしている割合 (小学校低学年の親)	70.3%	85%	85%
3食食べている割合(4～6歳)	92.6%	100%	100%

※直近の調査H27

2 施策の方向

(1) 出産・育児満足の実環境づくり

- 妊産婦相談体制の充実と子育て相談の充実を図るため、育児教室や訪問、相談会を通じて、きめ細やかな相談体制を作ります。
- 乳幼児健康診査で育児不安の軽減を図り、継続支援が必要な親子にきめ細かい支援を行い愛着形成が図れるようにします。
- 発達段階に即した愛着形成(※1)を具体的に啓発し、気軽に相談できる体制づくりに努めます。また温かいところによるしつけを地域ぐるみで進めます。

※1 愛着形成：幼児期までの子どもと養育者との間で、情緒的な結びつき(信頼関係、愛情など)が培われること。

(2) 子どもと保護者の健康の増進

- 早寝早起きおいしい朝ごはん運動を推進し、0歳から9歳までに生活リズムの土台を作り、10歳以降も継続した取組を行い、生涯を通じた健康づくりにつなげます。
- 基礎的な調理体験、食べる体験を通じて「食」への関心が持てる子どもを育成します。

- 子どもだけでなく保護者も含め生活リズムや食生活の改善ができるよう働きかけます。
- 9歳までの外遊びや集団遊び等の体験活動が子どもの心身の健康に欠かせないことから、ゲーム機、スマートフォン等の電子メディアに頼らない子育てを推進し、健康づくり、コミュニケーション能力、運動能力、自己コントロール能力等を育みます。

3 事業内容（主要事業）

(1) 妊娠アシスト事業

妊娠届出時の面接相談や、マタニティスクール、パパマママタニティスクールを実施し、出産や育児に関する知識や技術を身につけ、安定したマタニティライフを送ることができるように取組を行っています。

また、不妊症治療・不育症治療に伴う治療費の一部助成を行い、経済的負担の軽減に努めています。

【妊娠アシスト事業の利用状況】

	平成 29 年度	平成 30 年度
マタニティスクール参加者数	67 人	26 人
パパマママタニティスクール参加者数	75 人	55 人
不妊症治療費助成件数（うち妊娠成立件数）	40 件(17 件)	38 件(14 件)

(2) 妊産婦医療費助成事業 【新規】平成30年4月1日から

母子手帳を受け取った日から出産月の翌月末までの医療費を助成し、妊産婦の経済的負担を軽減し、保健の向上と福祉の増進に寄与することで、産みやすい環境を整えることを目的としています。

【妊産婦医療費助成事業利用状況】

	平成 29 年度	平成 30 年度
医療費助成申請者数	—	延 145 人

(3) 乳幼児すこやか事業

乳幼児健診等を通じ子どもの心身の健康状態の確認及び生活改善を図り、子どものすこやかな成長と、保護者が安定した育児を行えるよう支援しています。

発達障がいの可能性のある子どもを早期に発見し、適切な支援につなげられるよう、5歳児発達相談会を実施しています。

歯科健診におけるむし歯の早期発見、幼児等を対象としたフッ素塗布及び市内幼児・小中学生を対象としたフッ化物洗口の実施等により、むし歯予防にも努めています。

【乳幼児すこやか事業の利用状況等】

	平成 29 年度	平成 30 年度
3 歳児健診受診率	99.2%	98.8%
5 歳児はったつ相談会利用者割合	14.0%	14.1%
中学生一人平均むし歯本数	0.48 本	0.14 本

(4) 親子の絆応援事業

0 歳からの愛着形成推進のため、2 か月児訪問、おっぱい相談、すくすく赤ちゃん広場を開催し、母乳・抱っこ・おんぶ等の具体的な育児方法の助言等を行っています。

小中学生を対象とした赤ちゃんふれあいスクールでは、子どもたちと赤ちゃんとのふれあい体験をすることで、愛着形成や生命の大切さを学習する機会を提供しています。

【母乳育児率及び愛着形成事業参加者数】

	平成 29 年度	平成 30 年度
母乳育児率（4 か月未満児）	61.8%	53.7%
すくすく赤ちゃん広場参加者数	延 158 人	延 241 人
赤ちゃんふれあいスクール参加者数	623 人	687 人

(5) めだか園運営事業

発達支援センターめだか園では、集団生活への適応が困難な幼児に対し少人数編成による療育教室を開催し、就園・就学へのスムーズな移行に向けた支援を行うとともに、保護者への支援として臨床心理士、言語聴覚士等による発達相談を実施しています。

【めだか園運営事業の状況】

	平成 29 年度	平成 30 年度
発達支援センターめだか園登録者数	74 人	71 人
発達支援センターめだか園利用者延人数	1,136 人	1,593 人

(6) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業

妊娠期から就園まではマタニティスクールや乳幼児健診において、就園児や小学生には健康教室の開催や生活リズム改善の家庭学習を通じて、妊娠期からの一貫した取組を推進しています。特に9歳までの規則正しい生活リズム定着に重点をおいています。

また、市民公開講座として「生きる力の源、生活習慣の確立は一生もののプレゼント」と題し、富山大学 理事・副学長 神川康子氏の講演会を開催しました。

【生活リズムの現状】

	平成 29 年度	平成 30 年度
① 21 時 30 分までに布団に入る割合 (小学 1～3 年生)	80.2%	80.8%
② 朝ごはん 3 品以上の割合 (小学 1～3 年生)	82.7%	85.1%
③ 休日ゲーム 30 分以内の割合 (小学 4～6 年生)	27.3%	27.0%

*①・②は9歳までに生活リズムを身につける目標のため小学1～3年の数値を掲載、③は電子メディアとの付き合いが難しくなる小学4年生以上の数値を掲載した。

(7) 親子食育推進事業

妊娠期から「おいしい朝ごはん（おかずのある朝ごはん）」の重要性を啓発し、幼児期以降はキッズ・キッチン、ジュニア・キッチン等の調理体験を通じ、「食」への関心が高まるよう努めています。また、各種教室や該当者への個別栄養相談等を実施し、栄養バランスのとれた食生活の実践について支援を行っています。

【食育推進事業の状況と園児の肥満出現率】

	平成 29 年度	平成 30 年度
乳幼児食事指導参加者数	1,208 人	1,141 人
ステップアップ離乳食講座参加者数	92 組	64 組
ハッピー育児会参加者数	66 組	59 組
キッズ・キッチン、ジュニア・キッチン参加者数	874 人	810 人
キッズ・キッチン、ジュニア・キッチン満足度	98.3%	100.0%
園児の肥満出現率	4.1%	3.5%

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 妊娠アシスト事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> マタニティスクールやパパマママタニティスクールの参加者数は、対象者の減少もあり前年度より減少しましたが、参加者の満足度は高くなっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 快適なマタニティライフを支援するために、利用者のニーズを把握し、ニーズに合った教室となるよう、内容を検討します。 		
(2) 妊産婦医療費助成事業	評 価	順調
<p>【評価理由】 平成30年度からの新規事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初予算額以上の実績となっています。 		
(3) 乳幼児すこやか事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健康診査は、未受診者への受診勧奨を行うことにより、高い受診率（98%以上）を維持しています。 		
(4) 親子の絆応援事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2か月児訪問やおっぱい相談等で母乳育児支援を行うことにより、高い母乳育児率を維持しています。 小中学生が命の大切さを学ぶ場として赤ちゃんふれあいスクールや性教育に取り組みました。参加した子ども達は、家族への感謝や愛、子育ての大変さ等を感じることができました。 		
(5) めだか園運営事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年めだか園登録者数（発達支援のプログラム等を受ける未就学児数）が増加傾向にあります。より充実した支援を行うため、発達支援センターめだか園の体制整備が必要です。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> めだか園の学習スペースが利用者数に対し手狭となっていることから、施設整備等の検討を進めます。 		

(6) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康教室や家庭での取組等により一定の水準を維持しています。しかし、増加傾向にある児童生徒の電子メディアの接触時間が課題となっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規則正しい生活リズムの大切さについて普及啓発を継続するとともに、電子メディアとの上手な関わり方の周知に努めます。 		
(7) 親子食育推進事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キッズ・キッチンが市内全園が実施し、また園児の肥満出現率が減少しているなど、当事業はおおむね良好な状況を維持しています。 		

2 子育て支援の充実

- (1) 子ども・子育て推進体制の充実
- (2) 子育て家庭を支える取組の推進
- (3) 保育サービスの充実
- (4) 子育てと仕事の両立支援
- (5) 地域で行う子育て支援

【基本方針】

多様なスタイルの子育てと仕事が両立でき、子育て世代が、子育てに自信や希望を持って子どもを産み育てたいと思えるよう支援し、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

1 施策指標

指標	現状(H29※)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
子育て環境の満足度	43.9%	60.0%	70.0%

※直近の調査H29

2 施策の方向

(1) 子ども・子育て推進体制の充実

- 糸魚川市子ども一貫教育方針に基づき、市民が子育てについて理解と認識を深め、家庭、地域、幼稚園、保育園、学校等が相互に協力し、地域社会が一体となった子育てを推進します。

(2) 子育て家庭を支える取組の推進

- 育児相談や子育てサークルの活動支援の中心となる子育て支援センターの事業内容を充実します。
- 発達支援センターめだか園では、発達や成長に不安のある子どもと保護者に対する適切な相談や支援を行い、子どもの発達を促します。
- 児童虐待等の発生予防と早期発見に努め、子どもに関する様々な相談に適切に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心に継続的に必要な支援を行います。
- 保育料の軽減や子ども医療費助成などにより、子育てに係る保護者の経済的負担の軽減を図ります。

(3) 保育サービスの充実

- 需要が高まっている0～2歳の保育の場を確保するため、認定こども園や地域型保育事業等、既存の保育園に加え多様な選択ができる環境整備を進めます。
- 一時保育や時間外保育、病児・病後児保育等、個々の事情に柔軟に対応できるよう、事業の拡充を図ります。

(4) 子育てと仕事の両立支援

- 育児をしながら働く保護者へ育児支援の各種制度の充実を図るとともに、企業に対して短時間勤務の導入などを働きかけ、就労環境の整備を推進します。

(5) 地域で行う子育て支援

- 子育てに関する援助を求める世代と援助できる世代間の交流拡大を図り、地域全体で子育て中の家庭を支える体制や子育てしやすい環境整備を推進します。

3 事業内容（主要事業）

(1) 特別保育事業

・一時保育事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児（未就園児）を対象に、1日単位で利用できる保育を実施しました。

【一時保育の年間利用児童数】

	平成29年度	平成30年度
公立保育園(2園)中央、寺地	498人	338人
私立保育園(5園) はやかわ、いくみ、能生、おひさま、ひまわり	917人	837人
合 計	1,415人	1,175人

(2) 休日お助け保育事業

保護者が就労等により休日において家庭で保育できない場合に、ヴィラオレッタキッズランドで保育を実施し、保護者に対してその費用の一部を助成しました。

【休日保育の年間利用状況】

	平成29年度	平成30年度
利 用 日 数	79日	91日
総利用者数	346人	370人

(3) 子ども医療費助成事業

0歳から高校卒業年齢までの子どもの医療費について助成しました。

※一部負担金（保護者負担額）：通院・調剤530円／日（同月同一医療機関5回目以降は無料）、入院無料（H30.10から）

【子ども医療費助成の実施状況】

	平成29年度	平成30年度
助成件数	56,349件	60,358件
助成給付額	92,283,997円	96,264,059円

(4) 病児・病後児保育事業

育児と仕事の両立支援のため、生後6か月から小学6年生までの児童で、病期中または病気の回復期にあつて家庭での保育ができない児童を一時的に預かる病児・病後児保育を実施しました。

病児保育室は、平成29年11月9日から開設しています。

【病児・病後児保育の年間利用状況】

	平成29年度	平成30年度
病児保育室	95人	458人
病後児保育室	3人	0人

(5) 子育て支援センター運営事業

未就園児とその保護者にとっての交流の場として機能を果たし、育児相談がしやすい環境となるよう努めました。

【子育て支援センターの利用状況】

	平成29年度	平成30年度
利用者数	20,926人	21,224人
相談件数	41件	16件

(6) ファミリーサポートセンター事業

地域全体で子育てをサポートする取組として、会員の募集に努め、事業実施しました。

【ファミリーサポートセンターの利用状況】

	平成29年度	平成30年度
提供会員	20人	21人
依頼会員	37人	40人
年間活動回数	351回	268回

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 特別保育事業	評価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none">出生数の減少及び0、1歳児の保育園等への入所率の増加に伴い、一時保育事業の利用者数が減少していますが、登録率は横ばいであり、保育者ニーズには応えております。 【課題解決に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none">利用者の多様なニーズに対応できるように引続き事業の周知を図ります。		
(2) 休日お助け保育事業	評価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none">休日には、家庭で親子が一緒に過ごす時間が増えたこと等により、登録者数は減少しましたが、利用者数は若干増加しています。 【課題解決に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none">引き続き事業周知に努めるとともに、愛着形成の観点から親子が一緒に時間を多くとれるような環境整備にも努めます。		
(3) 子ども医療費助成事業	評価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none">対象となる範囲を順次拡大してきており、市民の満足度は高いと考えますが、県内では医療費の自己負担を無料としている自治体もあります。 【課題解決に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none">子育て世帯へのさらなる経済的負担軽減を図るべく、自己負担の無料化について検討します。		

(4) 病児・病後児保育事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内で病児、病後児保育の対応ができる施設が整備されましたが、病後児保育事業については開設当初から利用者数が伸びていません。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成31年4月から、病後児保育室を病児保育室に統合し実施しています。 		
(5) 子育て支援センター運営事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内4か所で開設しており、利用者数は増加傾向にありますが、利用者が未就園児に限られており、不便を感じる利用者も一部にいます。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用形態と移設について、将来的な課題として検討します。 		
(6) ファミリーサポートセンター事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員数は増加傾向にありますが、特定の利用者だけの現状があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で子育て世帯を支えるために有効な事業であることから、事業周知を図り、会員・利用率の増に努めます。 		

3 就学前教育の充実

- (1) 家庭教育の充実・強化
- (2) 乳幼児教育の充実
- (3) 幼稚園・保育園、小・中・高等学校の交流と連携の推進

【基本方針】

愛着形成の重要性を家庭と共有し、より良く生きるための基礎を育てます。

1 施策指標

指標	現状 (H29)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
糸魚川の自然を利用した遊びをしている割合 (4～6歳)	64.5% (H26)	70.0%	70.0%
1日1回は、自分の子を誉める保護者の割合 (4～6歳)	93.8% (H26)	100%	100%

2 施策の方向

(1) 家庭教育の充実・強化

- 講演会、乳幼児健康診査などを通して、子育ての土台となる親子の愛着形成、自己肯定感を育む子育ての重要性を啓発します。
- 2か月児訪問や子育て支援センターでの積極的な声かけなどにより、保護者の子育ての不安、悩みの解消に努めます。

(2) 乳幼児教育の充実

- 愛着形成の重要性共有など、家庭、地域と連携した教育を推進します。
- 幼稚園・保育園での遊びを中心とした生活を通して、発達に応じたきめ細やかな指導により、豊かな感性や道徳性、課題を解決する力の育成を図ります。

(3) 幼稚園・保育園、小・中・高等学校の交流と連携の推進

- 子ども一貫教育基本方針に基づき、関係機関が共通理解、情報交換を行い、切れ目のない支援に取り組みます。
- スタートカリキュラムやアプローチカリキュラムの作成・実践への取組、中学生の保育実習等、校種間の一層の連携と協力を推進します。

3 事業内容（主要事業）

(1) 子ども一貫教育推進事業

糸魚川市子ども一貫教育方針の中から家庭でできる子育ての方法やヒントを子どもの年齢別にまとめた「子育て応援BOOK」を作成し、「0～3才版」については2か月児訪問、「4～6才版」は幼稚園・保育園の入園の際などに配布しています。

また、各保育園・幼稚園での健康教室も開催し、糸魚川市子ども一貫教育方針における家庭の役割について理解を深めました。

(2) マタニティスクール

妊婦を対象としたマタニティスクールや妊婦と父親を対象としたパパマママタニティスクールを実施し、出産や育児に関する知識や技術を身につけるとともに、心配や不安なことを少しでも解消し、安定したマタニティライフを送ることができるように取組を行っています。また、スクールの場は仲間づくりの場にもなっています。

【マタニティスクール等の参加状況】 【再掲】

	平成 29 年度	平成 30 年度
マタニティスクール参加者数	67 人	26 人
パパマママタニティスクール参加者数	75 人	55 人

(3) 親子の絆応援事業【再掲】

0歳からの愛着形成推進のため、2か月児訪問、おっぱい相談、すくすく赤ちゃん広場を開催し、母乳・抱っこ・おんぶ等の具体的な育児方法の助言等を行っています。

小中学生を対象とした赤ちゃんふれあいスクールでは、子どもたちと赤ちゃんとのふれあい体験をすることで、愛着形成や生命の大切さを学習する機会を提供しています。

【母乳育児率及び愛着形成事業参加者数】

	平成 29 年度	平成 30 年度
母乳育児率（4か月未満児）	61.8%	53.7%
すくすく赤ちゃん広場参加者数	延 158 人	延 241 人
赤ちゃんふれあいスクール参加者数	623 人	687 人

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 子ども一貫教育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て応援BOOKは、保健師、幼稚園・保育園長に使い方の研修を行ったうえで、2か月児訪問時や幼稚園・保育園では保護者の集まる機会をとらえ配布し、家庭と園で共通理解のもと、子育てを行う仕組みを作りました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの電子メディアの接触時間の増加が健全な成長に与える影響について、あらゆる機会を通じ、一層の周知を図ります。 		
(2) マタニティスクール	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> マタニティスクールやパパマママタニティスクールの参加者数は、対象者の減少もあり、前年度より減少しましたが、参加者の満足度は高くなっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 快適なマタニティライフを支援するため、利用者のニーズを把握し、ニーズに合った内容となるよう検討します。 		
(3) 親子の絆応援事業【再掲】	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2か月児訪問やおっぱい相談等で母乳育児支援を行うことにより、高い母乳育児率を維持しています。 小中学生が命の大切さを学ぶ場として赤ちゃんふれあいスクールや性教育に取り組みました。参加した子ども達は、家族への感謝や愛、子育ての大変さ等を感じることができました。 		

4 質の高い学校教育の推進

- (1) 魅力ある学校づくりの推進
- (2) 確かな学力の育成
- (3) いじめや不登校のない学校づくりの推進
- (4) ふるさと学習による郷土愛の醸成
- (5) 一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の充実

【基本方針】

家庭、幼稚園・保育園、学校、地域が連携して、自立して生きる力を身につけた子どもを育てます。

1 施策指標

指標	現状 (H30)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
標準学力検査の偏差値平均 (小学6年生)	52.9	55.0	55.0
標準学力検査の偏差値平均 (中学3年生)	49.8	52.0	52.0

2 施策の方向

(1) 魅力ある学校づくりの推進

- 児童生徒が社会人・職業人として成長するために、自分の可能性を自覚し、将来像を描いて自主的に学ぶ教育活動のさらなる推進を図ります。
- 学校と、地域や地元企業、産業が連携し、児童生徒の社会貢献活動や職場体験等の充実を図ります。

(2) 確かな学力の育成

- 家庭と学校が連携し、基礎的・基本的な内容の定着を図り、また自ら学び自ら考える力などの『生きる力』をはぐくむ授業改善に取り組みます。
- 児童生徒の学習保障のために、人的配置や財政支援を実施します。

(3) いじめや不登校のない学校づくりの推進

- いじめや不登校を生まない学校風土づくりのために、児童生徒の思いやりの心と自主性を育成する自治的な活動、リーダーの育成を推進します。
- 家庭や地域と連携して、地域全体で規範意識や人間関係づくりの力等を育てる教育活動を推進します。

(4) ふるさと学習による郷土愛の醸成

- ふるさとに愛着をもち、心豊かな子どもを育てるため、ジオパーク学習を中心とした体験学習の充実を図ります。

(5) 一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の充実

- 子どもの悩みや課題に応じた適切な指導、支援のために、教育相談体制を充実します。
- 学校の生活や学習に困り感を持つ子どもの個別のニーズに応じた支援体制の充実を図ります。

3 事業内容（主要事業）

(1) 子ども一貫教育推進事業

【教育懇談会の開催状況】

通算回数 (実施日)	テーマ・演題・講師	対象者
第17回 (7月6日)	テーマ：地域とともにある学校 ～コミュニティ・スクールの仕組みづくり～ 演題：「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校へ」 講師：文部科学省初等中等教育局参事官 木村 直人氏	高等学校長、小中学校長、幼稚園・保育園長、学校評議員、学校運営協議会委員、人権擁護委員
第18回 (2月1日)	テーマ：ふるさと糸魚川に貢献できる人づくりをするために産・学・官が連携できること 演題：「糸魚川の未来を創るキャリア教育」 講師：放送大学教授 田中統治氏	高等学校長、小中学校長、幼稚園・保育園長、企業代表(30社)、PTA代表、民生・児童委員

この他、子育て応援BOOK（小学生版）を作成し、全児童保護者及び教職員へ子育てに活用いただけるよう配布しています。

また、小学校社会科副読本と、小学校3・4年生理科副読本について、現地調査を実施し、最新の情報やデータを副読本に反映させ、改訂を行いました。

(2) コミュニティ・スクール推進事業

平成28年度の糸魚川小学校、ひすいの里総合学校、平成29年度の磯部小学校、

田沢小学校に加えて、平成30年度には、西海小学校、糸魚川東小学校、大野小学校、根知小学校、糸魚川中学校が指定校になり、運営事業を始めました。

次年度に向けて推進事業を始めるとともに、次年度の推進校（能生小、南能生小、中能生小、木浦小、下早川小、大和川小、青海小、能生中、糸魚川東中、青海中の各学校）の運営事業開始への意識・意欲が高まりました。

(3) キャリア教育推進事業

市教育委員会事務局主催で説明会を開催の上、市内協力事業所142社（前年度120社）の協力を得て、5日間の日程で中学生職場体験学習を実施しました。

各校において、職場体験学習について報告するキャリア教育フォーラムを開催しました。

(4) 高等学校魅力づくり支援事業

市内高等学校3校が、特色ある活動を行うことで魅力を高め、入学者数の増加を図ることを目的に、各高校を支援する団体（PTA等）へ40万円（上限）を補助しました。

(5) 学力向上支援事業

標準学力検査(NRT)の実施や日本漢字能力検定及び実用英語技能検定の検定料の補助を行い、児童生徒の学習意欲の向上を図りました。特に検定料補助について、本年度から、数学検定を新規に設けたことと、漢字検定は、中学生まで、英語検定は、小学生まで年齢要件を広げました。

また、小学校全校で陰山メソッドによる学力向上対策を実施し、集中力と基礎学力の向上を図るとともに、小学校全校で統一的な取組ができるよう小学校教職員を対象に学力向上研修会を開催し、教育クリエイター 陰山英男氏による師範授業や講演を受講しました。

他に、放課後や長期休業等を活用して、市内小学校、中学校を対象に補習学習事業を実施しました。

【検定料補助金交付者数】

	平成29年度	平成30年度
日本漢字能力検定（小学生）	316人	355人
日本漢字能力検定（中学生）	—	138人
実用英語技能検定（小学生）	—	50人
実用英語技能検定（中学生）	419人	393人
実用数学技能検定（小学生）	—	2人
実用数学技能検定（中学生）	—	54人

(6) 教職員資質・指導力向上事業

教職員の指導力向上のために研修機会の充実を図り、児童生徒への教育や指導などに、どのように反映したかを検証しました。

採用2年目、3年目の職員を対象としたグローアップ研修を継続して実施しました。

【教職員の県外研修等の状況】

	平成29年度	平成30年度
県外研修補助件数	18件	14件
教職員研修講座数	18回	21回

(7) いじめ・不登校等対策支援事業

教育相談センターに子どもの教育相談員8名、適応指導教室指導員1名を配置し、児童生徒や保護者、教職員への相談活動等を行い、悩みや不安の軽減、解消等の成果を上げています。

生徒指導支援員を3名配置し、いじめ・不登校防止に向けて、児童生徒の指導方法について教員を指導し、未然防止を図りました。

スクールソーシャルワーカーを1名配置し、問題を抱える児童生徒の課題解決を図りました。

(8) ふるさと糸魚川学習支援事業

総合的な学習の時間に、ふるさと糸魚川における各学校独自の取組を実施しました。

学習成果を発表する場として「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」を開催し、保育園、小学校、中学校、高等学校から19校が発表し、交流会を行いました。

(9) 教育補助員等配置事業

特別支援教育における個別支援を中心に小学校33人、中学校10人、特別支援学校4人、合計46名の介助員を配置しました。

図書館司書は糸魚川小学校（糸魚川地域）及び田沢小学校（青海地域）への配置の他、平成30年度から新たに能生小学校（能生地域）に1名を配置し、読書量の向上や授業の充実のための図書館活用を行いました。

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 子ども一貫教育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年2回開催した教育懇談会は、学校関係職員に加え、多数の地域住民・保護者が参加し、0歳から18歳までの子どもを連携・協働で育てるため、地域ぐるみで学校づくりを行う行動連携について話し合いました。懇談会終了後のアンケートでは、肯定的な意見が多く寄せられています。 幼保・小連携、小・中連携、中・高連携の取組が発展しています。小・中・高の校長会を実施し、キャリア教育の推進と地域人材の育成に向けて連携を図ることができました。 子育て応援BOOKは、次年度以降、新1年生保護者へ配布します。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校種間の連携は進んでいますが、子ども一貫教育の基本理念にある「地域ぐるみ」の子育てという観点で、地域・保護者との連携を密にした取組を拡充していきます。 		
(2) コミュニティ・スクール推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域で情報や課題・目標・ビジョンを共有しながら、各学校の特色を生かして事業に取り組み、家庭・地域の理解を得てきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次年度全学校が実施します。地域ぐるみで子どもを育てる環境が整うよう支援を継続します。 		
(3) キャリア教育推進事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校の職場体験事業所に対する説明会を行ったことにより、5日間の職場体験活動への理解が深まりました。また、協力事業所数が増加しました。 		
(4) 高等学校魅力づくり支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 創設3年目の事業で、糸魚川高校の英語力向上に向けた取組のほか、内容は3校とも前年度からの事業を発展させるものでした。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の高等学校再編整備計画による「地域との連携」を重視し、学校と協議の上、魅力向上と情報発信につながる事業化を図ります。 高校を核とした地域人材育成に向けて、更なる事業展開を図る必要があります。 		

(5) 学力向上支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校では陰山メソッドの取組を通して、基礎学力の向上が見られました。 ・ 小・中学校ともに本事業を活用する学校が増え、児童・生徒の個に応じた学習を行うことができました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校での学力向上が課題です。小学校段階での学びが中学校へつながるよう、小中の連携をさらに進めるとともに、「授業改善チェックリスト」を活用できるよう指導を続けます。 		
(6) 教職員資質・指導力向上事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新学習指導要領に対応できる研修会の実施や新採用2・3年目職員対象の若手養成研修等、ニーズに合った研修会を設定しました。 ・ 県外研修補助は、教職員の自主的な研修の活性化につながり、教職員の資質・能力を高めるための支援となりました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革を視野に入れた有効的な研修会の在り方を検討していく必要があります。 		
(7) いじめ・不登校等対策支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市いじめ防止基本方針及び市いじめ防止等の行動計画を改定し、いじめ防止に向けた取組について関係機関へ周知しました。 ・ 生徒指導支援員及び相談員が効果的に各校で活用されるようになり、いじめの早期発見、解決に向け学校と一体となって取り組んでいます。 ・ 市適応指導教室、中学校の校内適応指導教室に学習支援員を配置（派遣）したことにより、通級する児童生徒への学習支援が充実しました。 ・ 中学校では、学習支援及び相談対応が登校に向けてのきっかけづくりとなり、不登校の生徒数が減少傾向となっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 能生地域の不登校傾向の子どもたちのために、市適応指導教室を能生地域に設置し、不登校の子どもたちの居場所づくりに努め、再登校につなげます。 		

(8) ふるさと糸魚川学習支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」では、保育園、小学校、中学校、高等学校の参加を得て、19校の発表が行われました。発表・鑑賞・意見発表を通して、ふるさと糸魚川への理解と愛着がさらに深まりました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流会の発表形態を見直し、多くの学校が参加しやすい環境を整えます。 		
(9) 教育補助員等配置事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市全体の児童生徒数は減少傾向にあります（平成29年度の96%）が、特別な支援を要する児童生徒は増加しており（平成29年度の110%）、当該児童生徒を本年度新設・増設になった特別支援学級（2学級）へ配置することができました。 ひすいの里総合学校へ教員免許を有する教育補助員を配置することで、特別支援学校が地域の特別支援教育のセンターとして機能（教育相談に基づく各校への指導・助言・連携等）するようになってきました。そのため、学級担任の教育支援委員会専門調査員の教育相談数が例年の40%程度になり、担当の児童生徒の指導に専念できる環境が整いつつあります。 言語・発達だけでなく、他の障害を有する児童生徒も増加したため、難聴通級指導教室を新たに設置しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常学級に在籍している児童生徒で、特別な支援を要する割合が市全体で12.3%（平成28年度10.6%/平成29年度11%）となっており、県平均の6.5%を大きく上回っています。インクルーシブ教育の理念のもと、合理的配慮に基づいて、通常学級への支援にも取り組みます。 		

5 学校等教育環境の整備

- (1) 教育環境の充実と教育施設の適正管理
- (2) 安全・防犯対策の充実

【基本方針】

充実した教育環境と安全性を確保するために施設の適正管理を進めます。
また、より良い教育環境を確保するために学校の適正配置方針を検討し、計画的な改修、施設・設備の更新により、安全、安心で快適な教育環境の整備を進めます。

1 施策指標

指標	現状 (H30)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
防災機能強化（天井等落下防止）対策済みの学校数	21校/21校	21校/21校	—
大規模改修（新築・改築含）の実施校数	11校/21校	12校/21校	13校/21校

2 施策の方向

(1) 教育環境の充実と教育施設の適正管理

- 学校の適正規模や配置についての検討を進め、長寿命化計画を含めた学校適正配置方針を定め、より良い教育環境を確保します。
- ICT教育の推進を図るため、老朽化して未使用となっている機器を更新し、授業等での利用促進につなげます。合わせて使用する教職員に対する研修やサポート体制についても充実します。

(2) 安全・防犯対策の充実

- 通学路等での事故防止への取組や防犯パトロールを継続するとともに、地域やPTA、警察等関係機関との連携による情報共有に努め、安全対策や防犯対策を進めます。

3 事業内容（主要事業）

(1) 学校改修事業

内容	事業費	説明
糸魚川中学校武道館屋根改修工事	29,513 千円	折板屋根カバー工法 994 m ²
大和川小学校外壁その他改修工事	23,631 千円	校舎 外壁タイル撤去 195.0 m ² 底ウレタン塗膜防水 126.0 m ² 飛散防止フィルム張り 73.2 m ² 体育館 既設シーリング撤去 201.0m サッシ廻りシーリング 70.0m サッシ水切り上部シーリング 27.3m サッシ方立シーリング 104.0m
根知小学校排水設備改修工事	14,688 千円	合併処理浄化槽設置 14人槽 1基 排水配管工事 一式
能生小学校改修工事	5,236 千円	児童玄関改修 堅樋改修 小体育館屋上防水 トイレ臭気対策
能生中学校トイレ・エレベーター改修（建築等）工事	80,382 千円	エレベーター新設工事 既存タムウェーター撤去 11人乗りエレベーター新設 多目的トイレ新設工事 生徒トイレ、職員トイレ改修工事
能生中学校トイレ・エレベーター改修（機械設備）工事	35,522 千円	衛生設備 生徒、職員トイレ全面改修 PS内配管改修 多目的トイレ 給排水、衛生器具新設 換気機器設備 既存換気扇取替
糸魚川東中学校特別教室棟倉庫内部改修工事	3,456 千円	テレビ付ドアホン取付 1箇所 壁掛型ルームエアコン取付 1箇所 天井ロックウール化粧吸音板 18.8 m ² 壁ビニルクロス 83.1 m ²

(2) 小学校プール改修事業、グラウンド改修事業

内容	事業費	説明
磯部小学校・中能生小学校 プールろ過機取替工事	4,860 千円	磯部小プールろ過機取替 浦本小の既存ろ過機及び 周辺設備を移設 中能生小プールろ過機取替 市振小の既存ろ過機及び 周辺設備を移設

(3) 暖房設備等改修事業

内容	事業費	説明
大野小学校冷暖房設備改修 工事	25,760 千円	既存空調設備撤去 石油暖房機 27 台 パッケージエアコン 8 組 マルチエアコン 1 組 石油冷暖房機 1 組 暖房設備取付 石油暖房機 27 台 冷暖房設備取付 パッケージエアコン 8 組 ルームエアコン 6 組

(4) 防犯パトロール事業

通学路等での事故防止のため、各地区で防犯パトロール員が児童の登下校時の見守りを実施しました。

	平成29年度	平成30年度
防犯パトロール員登録者数	231人	168人

(5) 学校 ICT 環境推進事業

小学校5年、6年の算数及び中学校全学年の数学にデジタル教科書を導入しました。

普通教室の無線LANを小学校5校に設置し、小学校5校、中学校1校が整備済みとなりました。

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 学校改修事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校改修事業は、長寿命化計画に基づき順次実施しています。平成30年度は、糸魚川中学校の武道館屋根改修工事、大和川小学校の校舎と体育館の改修工事、根知小学校の排水設備改修工事(単独浄化槽から合併浄化槽へ)、能生小学校の校舎改修工事を実施しました。 能生中学校の校舎大規模改修は、国の29年度補正予算により、トイレ洋式化とエレベーターの新設だけが補助採択され、30年度に繰り越して工事を実施しました。残りの大規模改修については令和元年度に補助採択されたため、令和2年度までに完了する見込みです。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校施設は、児童生徒の学習と生活の場であるとともに地域コミュニティや防災拠点、避難所としての役割を果たす施設でもあるため、エレベーター、多目的トイレ、防犯カメラの設置など、ユニバーサルデザインやバリアフリー化による防災機能の強化を積極的に進めていく必要があります。 長寿命化を実現するための改修計画は、老朽劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、計画的に実施することが重要です。 国は30年12月に「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」を発表し、子どもたちの安全と健康を守るため、老朽化対策を推進し、教育環境の改善等の安全性・機能性の確保に取り組むとしていることから、関係課と協議しながら、実施計画の前倒しを検討します。 		
(2) 小学校プール改修事業、グラウンド改修事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は、閉校した小学校のプールろ過機を再利用し、磯部小学校と中能生小学校のプールろ過機取替工事を実施しました。 グラウンド改修は、ありませんでした。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、市内14校の小学校全てに設置されているプールのうち、建築後40年経過しているプールは3分の2あり、老朽化が進行しているため、毎年、プールの小修繕を行いながら維持管理をしています。プールの耐用年数は30年であり、今後の小学校プールのあり方については、各小学校の実情を踏まえ、個別に方向性を検討する必要があります。 		

(3) 暖房設備等改修事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度は、大野小学校冷暖房設備改修工事を実施しました。 ・ 近年の記録的猛暑を踏まえ、令和元年度から2ヶ年で全ての小中学校普通教室にエアコンを設置する計画でしたが、国の30年度補正予算（特例交付金）で未設置の小中学校分がすべて補助採択されたため、前倒しで予算化されました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校の状況によっては音楽室やランチルームなどの特別教室についても設置する必要があるため、計画的に整備します。 ・ 既設のエアコン、暖房機も含め計画的に更新し、事業費の財政的平準化を図ります。 		
(4) 防犯パトロール事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯パトロール員により、見守り活動を通じて、子どもと接することが、心身の健康につながるという声をいただいています。 ・ 防犯パトロール員が高齢などの理由により、新たな受け手がいないことが課題となっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校のコミュニティ・スクール等で協議し、地域と学校が一体となった見守り体制を構築します。 		
(5) 学校 I C T 環境推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル教科書については、授業における活用が進んでおり、児童生徒の興味関心が高まっている状況です。 ・ 更新時期を迎える各種システムを順次更新することと併せ、デジタル教科書の導入やプログラミング教育に対応する I C T 教育環境の整備を進める必要があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校 I C T 支援員を新設するとともに、新たな環境整備として、普通教室への無線 L A N 設置、大型ディスプレイを計画的に配置します。 		

第2 生涯学習の充実

1 社会教育の充実

- (1) 推進体制の充実
- (2) 青少年の学習機会の充実
- (3) 親と子の学習機会の充実
- (4) 成人・高齢者の学習機会の充実
- (5) 施設の機能充実と有効活用
- (6) 図書館機能の充実

【基本方針】

市民一人一人がふるさとを愛し、心豊かに暮らすため、生涯各期にわたる学習機会の充実を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (H30)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
各種講座等事業の市民1人当たり参加回数	1.3回	1.4回	1.5回
図書館の市民1人当たり貸出冊数	5.4冊	6.1冊	6.3冊

2 施策の方向

(1) 推進体制の充実

- 地区公民館を拠点に地域住民による自主的な学習活動や地域活動を充実させ、市民と行政が協働してひとづくり・まちづくりを推進します。
- 団体やグループの活性化のため、リーダーの育成や支援体制を強化します。

(2) 青少年の学習機会の充実

- 青少年の自然体験活動や異なる年齢の人々との交流活動を促進し、社会の中で自立し、協調できる青少年を育成します。
- 地域の自然や文化・伝統等を学ぶ機会や支援体制を充実させ、ふるさと糸魚川に愛着と誇りを持てる子どもを育成します。

(3) 親と子の学習機会の充実

- 幼稚園・保育園、学校、地域、関係機関が連携して、生活スタイルや家族関係の多様化に対応した学習機会を提供し、家庭における教育力の向上に努めます。

- 子どもの健全な成長を育み、より良い親子関係づくりを推進するため、体験活動などの取組を強化します。

(4) 成人・高齢者の学習機会の充実

- 多様な学習機会の提供により、利用者の増加を図り、他の事業との連携を強化するとともに、地域の人材発掘や学びの成果が生かされる環境の整備を推進します。
- 公民館事業の充実に向けて、各館のさらなる情報共有を図るとともに、地域課題に取り組む事業を推進します。

(5) 施設の機能充実と有効活用

- 施設の大規模改修は計画的に行い、適切な維持管理により有効活用を図るとともに、将来的な地域振興の核として多機能化を図ります。

(6) 図書館機能の充実

- 利用者のニーズの把握に努めるとともに、新刊図書、郷土資料、新聞、雑誌などの資料を充実させ、更に利用しやすい図書館づくりに取り組みます。
- 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭・学校等と連携し、読書環境の整備や啓発活動を行います。

3 事業内容（主要事業）

(1) 成人教育事業

市民活動や地域活動のリーダーや青少年活動の指導者を育成する「おとなのワクワク探検隊」のほか、料理教室や英会話体験教室などの「生涯学習講座」、地区公民館でのジオパーク学習など「地区生涯学習活動推進事業」を実施しました。

また、個人の学習成果を地域の学校で生かす「学校支援地域本部事業」を実施しました。

【成人教育事業参加者数】

	平成29年度	平成30年度
おとなのワクワク探検隊参加者数	83人	31人
生涯学習講座参加者数	121人	121人
地区生涯学習活動推進事業参加者数	2,434人	2,748人
学校支援ボランティア	25,666人	24,179人

(2) 青少年活動事業

青少年の豊かな心とたくましく生きる力、郷土愛を育むことを目的とした「ワクワク探検隊」や「海とあそぼう」などの体験学習事業、遊びながら仕事や防災について学ぶ「キッズフェスタ」を開催しました。

【青少年活動事業参加者数】

	平成29年度	平成30年度
ワクワク探検隊参加者数	76人	106人
海とあそぼう参加者数	雨天中止	130人
キッズフェスタ参加者数	400人	500人

(3) 成人式事業

成人を祝い、成人としての自立を促すための「成人式」を開催しました。

【成人式事業参加者数】

	平成29年度	平成30年度
成人式参加者数	365人	344人

(4) 家庭教育支援事業

就学時検診や移行学級の機会を活用しての保護者向け「子育て講座」や、人の気持ち分かる想像力豊かな子どもを育むことを目的に、親子での自然体験活動を行う「ふるさと楽習親子塾」を実施しました。

また、家庭学習の習慣付けと子どもの居場所づくりのため、図書館を会場に「土曜自習室」を開設しました。

なお、身体を使ったダイナミックな遊びを通じて子育てを楽しく学ぶ父親対象講座「お父さんとあそぼう」は、インフルエンザの流行により中止しました。

【家庭教育支援事業参加者数】

	平成29年度	平成30年度
子育て講座参加者数 (学童期・思春期・中学生等・親子ふれあい)	785人	1,059人
ふるさと楽習親子塾参加者数	124人	127人
土曜自習室参加者数	36人	123人
お父さんとあそぼう参加者数	22人	インフルエンザ流行により中止

(5) 図書館資料整備事業

図書（4,555冊）の購入により図書館資料の充実に努めました。

「ジオパークコーナー」「相馬御風コーナー」を常設し、「夏休み自由研究」等のテーマ別に随時コーナーを設置し、関係資料の展示、情報提供などの充実に努めました。

【市民図書館蔵書冊数】

	平成29年度	平成30年度
市民図書館	154,099冊	154,312冊
能生図書館	56,910冊	57,817冊
青海図書館	82,116冊	81,999冊
3館合計	293,125冊	294,128冊

(6) 絵本ふれあい事業

ブックスタート、紅梅文庫資料の公開、絵本の原画展など絵本の魅力を活用し、家庭における読書のきっかけづくりとなる事業を実施しました。

【絵本ふれあい事業参加者数】

	平成29年度	平成30年度
紅梅文庫一般公開参加者数	378人	61人

(7) 地区公民館・生涯学習施設整備事業

【地区公民館施設整備事業】

内容	事業費	説明
旧上早川小学校跡地利用調査・校舎改修実施設計	5,854 千円	測量業務 L = 60m 校舎改修基本設計・実施設計・上階利用検討資料作成
大野地区防災広場整備	66,449 千円	広場造成 7,680 m ² 東屋設置 12.96 m ² 雨避け設置 舗装工事
歌外波地区公民館フェンス設置工事	1,214 千円	ブロック塀解体 フェンス設置 39m
玉ノ木支館外壁補修工事	8,143 千円	外壁張替工事 467 m ²

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 成人教育事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進計画の基本理念である「学ぶ」「生かす」「つながる」を実践するため、各種講座や人材育成事業に取り組みました。平成29年度から実施したリーダー育成事業「おとなのワクワク探検隊」は、参加者から好評を得ましたが、他の講座と比較すると参加人数が少ない状況です。 「学校支援地域本部事業」については、「地域が学校を支援する」という一方向の動きから、「地域と学校が協働する」という双方向の動きへと変わってきている中で、「学校支援地域本部」のあり方の再構築が求められています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人教育については、学びを地域に生かし、そこから人の輪が広がる循環型の生涯学習社会の実現を目指し、参加人数が少しでも増えるよう工夫しながら、人材育成を目的とした生涯学習事業に引き続き取り組みます。 「学校支援地域本部」は「地域学校協働本部」と読み替え、地域と学校との協働が確実に進むよう、本部体制の見直しを進めます。 		
(2) 青少年活動事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年事業は、継続実施している「ワクワク探検隊」の目的を再確認し、「ふるさとのお宝さがし」というテーマを持たせて取り組みました。 「海とあそぼう」は参加者が増えていますが、レジャー目的での参加が散見されます。 これまで他校の児童と宿泊体験を通じた交流を図るため実施していた「子ども交歓会」は、「ワクワク探検隊」と明確に区分しにくくなったことから、「ワクワク探検隊特別編」として実施するなど効率化を図りました。 「ワクワク探検隊」に参加していた中学生、高校生からジュニアボランティアに登録してもらい、青少年事業にスタッフとして参画してもらいました。参加者や育成指導員からは好評を得ましたが、活動の目的について説明が不足していた点もありました。 「キッズフェスタ」は、亀ヶ丘体育館から市民会館へ会場を変更し、新たに看護職体験やプログラミング体験などを行い、仕事と防災を学ぶイベントとして好評でした。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型事業については、学校、学年の枠を超えて子どもが交流しながら糸魚川について学ぶ機会であり、継続が望ましい状況ですが、類似の事業も 		

<p>多く、目的や内容を検証、整理する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジュニアボランティアについては、将来の青少年リーダーとなる人材発掘のため、登録者が増えるよう引き続き周知するとともに、研修会の開催を検討します。 「キッズフェスタ」については、県こども会育成連合会の「こどもの遊びの広場」と連携し、遊びブースと仕事体験ブースを合わせ、半日開催から1日開催に拡充し、より楽しいイベントになるよう拡大します。 		
(3) 成人式事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会を中心に成人式を開催し、例年規模の出席がありました。（出席率約80%） 		
(4) 家庭教育支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校等で行う子育て講座や地区家庭教育支援事業については、委託料を補助金ととらえて実施するケースが見受けられました。 「お父さんとあそぼう」は、前年度まで男性保育士を講師としていたところを、今年度は女性保育士も関わる内容で準備をしていましたが、中止となりました。 「ふるさと楽習親子塾」は、親子の絆を深めるとともに、糸魚川の良さを知る貴重な機会でもあり、参加者は大きく増えませんが好評を得ています。 「土曜自習室」は、学校とは異なる環境で自習できる点と穏やかな指導を受けられる点が好評でしたが、子どもに寄り添える指導者の確保が課題です。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校等で行う子育て講座や地区家庭教育支援事業については、公民館職員の予算説明会や教頭会等の機会を利用し、事業の目的をしっかりと伝えるとともに、特に重点施策を設定し目的を持った取り組みを推進します。 「お父さんとあそぼう」、「ふるさと楽習親子塾」は、内容を見直ししながら継続します。 「土曜自習室」については、指導者の確保を図り、会場等増やすことで拡大に向けて検討します。 		

(5) 図書館資料整備事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書の充実を図り、市民が読書に関心を持つよう努めましたが、図書館の利用者数は減少傾向となっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者からの要望にできる限り、応じるために、より一層、図書の充実を図り、図書館利用者の拡大に努めます。 		
(6) 絵本ふれあい事業	評 価	遅れている
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紅梅文庫の一般公開は、これまで「大紅屋」で実施してきましたが、会場が使用できなくなったことから、旧倉又茶舗に変え、実施しました。紅梅文庫に対する市民の関心の薄れもあり入場者数は減少しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館への誘導と業務の効率化を図るため、図書館を拠点にして紅梅文庫の展示や原画展を開催することで、引き続き多くの方が本に触れる機会を提供するよう努めます。 		
(7) 地区公民館・生涯学習施設整備事業	評 価	遅れている
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区からの要望を受け、旧上早川小学校の校舎の一部を上早川地区公民館として利用するため、調査・設計を進めていましたが、時間の経過に伴い地区から移転要望を取りやめたい旨の要望書が提出されました。これにより上早川地区公民館の整備については、今後の方針をもう一度立て直す必要があります。 ・ 大野地区防災広場は、大野地区公民館に隣接し、災害時の避難場所としても活用できる広場として整備を完了しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上早川地区公民館の例からも、施設整備については、効率的・安定的な行政運営のため、集中と選択が必要であり、公共施設等総合管理指針に基づき、利便性と効率性のバランスをとりながら、地域と調整し、長期的な視野を持って整備計画を立てます。 		

2 スポーツ環境の充実

- (1) 生涯スポーツの振興
- (2) 競技スポーツの振興
- (3) スポーツ大会の開催と誘致の推進
- (4) スポーツ施設の環境整備

【基本方針】

生涯スポーツの推進により、市民の健康づくりや生きがいづくりを促進します。

1 施策指標

指標	現状 (H30)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
市民スポーツ教室、地区スポーツ教室の参加率	5.6%	7.5%	10.0%
スポーツ施設の年間1人当たり利用回数	5.3回	5.0回	5.5回

2 施策の方向

(1) 生涯スポーツの振興

- 体力や運動能力、目的に合わせてスポーツに親しむことができる機会や環境の提供、指導者の育成や資質の向上により、市民一人一人の健康づくりを促進します。
- 各種レクリエーション・スポーツ教室の開催、各種スポーツ活動に対する支援を行い、スポーツによる仲間づくりやコミュニティの活性化を促進します。

(2) 競技スポーツの振興

- 体育協会等団体の活動支援を行い、市民のスポーツへの関心を高め、競技力の向上を図ります。
- 選手の資質を最大限引き出すことと、年齢に応じた指導体制の構築と支援が必要であり、体育協会、学校、各種競技団体との連携の強化や情報交換を図り、指導者の相互連携を促進します。

(3) スポーツ大会の開催と誘致の推進

- 競技水準の向上を図るため、レクリエーションスポーツや競技スポーツ大会、観て感動を受けるスポーツの公式競技大会やイベントなど、各種大会の開催・誘致を推進します。

- 大学等が実施するスポーツ合宿等の誘致に努め、交流の促進と競技レベルの向上を図ります。

(4) スポーツ施設の環境整備

- 計画的に整備・改修を行い、社会体育施設の適切な維持管理を推進します。

3 事業内容（主要事業）

(1) スポーツ推進事業

スポーツ教室として、いきいきスポーツ教室（3種目）、市民スポーツ教室（13種目）、地区スポーツ教室（10地区）や水泳教室を実施し、気軽に参加できる環境づくりに努めました。

冬季スポーツ振興助成事業として、子どもたちへのリフト乗車料金の助成を実施し、雪国の特性を生かしたスキー等のスポーツに親しむ機会を増やす支援を行いました。

大会等の開催として、市民総合体育祭（24種目）、ソフトボールや駅伝等（5大会）の大会を実施し、市民の参加と各種団体等と連携した取組を実施しました。

全国大会等出場者激励金を団体13件、個人36件、合計49件交付しました。内訳は小学校5件、中学校9件、小中1件、高校24件、一般10件です。

そのほか中学校軟式野球大会開催、新潟県駅伝競走大会出場を支援しました。また、8月8日から11日まで立教大学軟式野球部（45名）の合宿受入を支援し、練習会場として美山球場が利用されました。

【各種スポーツ教室開催状況】

	平成29年度	平成30年度
いきいきスポーツ教室 種目数、延べ受講者数	3種目 240人	3種目 247人
市民スポーツ教室 種目数、延べ受講者数	13種目 642人	13種目 203人
地区スポーツ教室 地区数、延べ受講者数	11地区 2,243人	10地区 2,233人
市主催水泳教室 講座数、延べ受講者数	6講座 1,679人	6講座 1,215人
市主催スキー教室 参加者数	7人	実施なし
冬季スポーツ振興助成事業 助成件数	5,313件	5,099件
海洋スポーツ普及振興事業 参加者数	32人	36人

(2) 相撲のまち糸魚川支援事業

学校開催の相撲教室（出前授業）等で使用する簡易まわしを購入しました。
相撲教室（出前授業）や小学生親善相撲大会の開催実施を支援しました。

(3) 体育団体等支援事業

糸魚川市体育協会、ジュニア育成団体に補助金等による支援を行いました。
（競技種目別団体30団体、学校体育団体5団体）

【体育協会加盟状況】

	平成29年度	平成30年度
加盟団体数	35団体	35団体
加盟者数	7,465人	7,235人
ジュニア補助団体数	62団体	60団体

(4) 有名選手招致事業

隔年開催のため、実施しませんでした。

(5) スポーツ施設整備事業

内容	事業費	説明
美山陸上競技場改修工事	60,202千円	ウレタンオーバーレイ工、 階段補修 他
市民総合体育館改修実施設計業務委託	3,240千円	空調設備・衛生設備・排煙 窓改修

【体育施設利用状況】

	平成29年度	平成30年度
施設数	29施設	30施設
利用団体数	9,949団体	9,919団体
利用者人数	243,195人	234,034人

【学校施設利用状況】

	平成29年度	平成30年度
開放施設数	21施設	19施設
利用団体数	5,641団体	5,386団体
利用者人数	116,366人	122,802人

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) スポーツ推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ教室は、実施地区の拡大と、参加しやすい内容をさらに推進することが課題です。 ・ スキー場リフト乗車料金の助成件数は、前年並みで推移しています。 ・ スポーツ推進委員は、地域のスポーツ教室等で活躍しているものの、主体的な活動や公民館と連携した指導や支援の機会を増やす等の工夫が課題です。 ・ スポーツ合宿は、例年実施されていますが、同じ団体の継続実施は難しいことから、誘致活動や受入体制の強化が課題です。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ教室は、能生、青海地域での開催や、地区教室の増加、また、健康づくりと連携することにより、参加者の広がりを推進します。また、市民ニーズを把握し、誰でも気軽に楽しく参加できるスポーツ教室を実施します。 ・ 高度な技術を直に見ることによる競技力向上や地域活性化につながる効果が期待できるため、関係者や宿泊事業者等と連携して合宿誘致に努めます。 		
(2) 相撲のまち糸魚川支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内小学校で出前授業として相撲教室を行いました。また、第4回小学生親善相撲大会を開催し、相撲の魅力や楽しさを体験できる機会を設けることができました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度までの3年間の限定事業ですが、今後も相撲連盟の意向を確認の上、連携した支援を行っていきます。 		
(3) 体育団体等支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ協会は、事業実績の充実を図るため、なお一層の体制強化の見直しが求められています。 ・ ジュニア団体指導者の育成を重点に支援する必要があります。 ・ 全国大会等の上位大会出場の件数は、昨年度と比較すると全体では減少しましたが、高校生以下の児童・生徒は、ほぼ同数でした。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ協会加盟団体やジュニア育成団体への活動支援について、財源と支援のバランス等を検証し、見直しを進めます。 ・ 競技力向上やスポーツ指導者の養成とその資質向上を目指すため、上部団体やスポーツ協会及び加盟団体と今後も連携を図ります。 		

(4) 有名選手招致事業	評 価	—
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隔年実施であり平成30年度は実施しなかったため、評価しません。 ・ 有名選手の招致や各種大会の開催・招致は、競技力の向上とスポーツの魅力を市民に与える効果が大きく、継続して事業を実施します。 		
(5) スポーツ施設整備事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美山陸上競技場の改修及び公認更新をはじめ、経年劣化による不具合が生じている施設について、安全確保を重視した維持管理に努めました。 ・ 利用希望が重複する施設は、曜日や時間帯の調整を行い、利用促進を図っています。また、学校施設の開放については、市立学校及び市内の高校と連携しながら有効利用に努めています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツの普及のため、学校開放を含む体育施設の現況を把握した上で既存施設の有効活用を図り、公共施設等総合管理指針に沿って計画的に修繕・改修等を進めます。 ・ 利用希望が重複する施設においては、今後も利用調整を行いながら有効活用を図るとともに、稼働率が低い施設については、公共施設等総合管理指針の個別計画により、あり方を検討します。 		

第3 文化の振興

1 芸術文化の振興

- (1) 市民の芸術文化活動への支援
- (2) 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供
- (3) 文化施設の有効活用

【基本方針】

市民の心の豊かさを育むため、芸術文化の振興を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (H30)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
年間1人当たりの文化事業参加回数※1	0.4回	1回	1.5回
年間1人当たりの文化施設利用回数※2	2.4回	1.6回	2.1回

※1 美術展や文化ホール事業等、市が関連する文化事業の参加者数/人口

※2 糸魚川市民会館・青海総合文化会館・能生マリンホール利用者数/人口

2 施策の方向

(1) 市民の芸術文化活動への支援

- 市民の主体的な芸術文化活動が活発に行われています。引き続き、これらの活動を支援し、地域の活性化を図ります。
- 市民の文化活動の励みと郷土愛の醸成のため、学校や市民団体等と連携し、郷土にゆかりのある文化人を顕彰します。

(2) 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供

- 心豊かな市民生活に、文化活動は不可欠です。そのために、音楽コンサートやミュージカル、演劇、美術展など優れた芸術文化に触れることのできる機会を提供します。
- 学校をはじめ、市民団体や地域等と連携しながら、若い世代が文化に親しむ機会を設けます。
- 鑑賞機会の提供には、集客型事業のほか、メディアの活用やアウトリーチの実施など、多様な方法に取り組みます。

(3) 文化施設の有効活用

- 糸魚川市民会館及び青海総合文化会館については、市民の文化活動の拠点として、引き続き多くの方から様々な文化活動に利用されるように努めます。
- 文化施設の多くは老朽化が進んでいるため、利便性や効率性を考慮しながら、公共施設等総合管理指針に基づき、あり方を検討するとともに、計画的な改修整備等を行います。

3 事業内容（主要事業）

(1) 文化活動支援事業

市民の自主的な鑑賞事業の実施を支援することにより、優れた舞台芸術を鑑賞する機会の充実を図りました。

【文化活動支援事業支援状況】

	平成29年度	平成30年度
支援件数	2件	2件
補助額	1,337千円	1,543千円
入場者数	855人	1,080人

(2) 美術展覧会事業

糸魚川市美術展覧会、青海美術展、能生作品展、糸魚川市児童生徒図工美術作品展を実施しました。また画廊きららでは常設展示を行いました。

【美術展覧会実施状況】

	平成29年度	平成30年度
入場者数	7,032人	6,182人
作品数	1,289点	1,167点

(3) 相馬御風顕彰事業

短歌大会と俳句大会を隔年で開催し、応募数は横ばい傾向にあります。

【短歌／俳句大会実施状況】

	平成29年度	平成30年度
応募人数	2,485人	1,920人
応募作品数	2,730句	2,148首

※H29は俳句大会、H30は短歌大会を実施

(4) 文化協会支援事業

補助金による支援、人的支援（事務局代行）を行いました。

【事業実施状況】

	平成29年度	平成30年度
会員数	129団体 3,079人	126団体 2,957人
事業数（総合）	6件	6件
事業数（部会）	6件	6件
参加者数	3,468人	3,142人

(5) 鑑賞推進事業

優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供するとともに、市民参加型事業をはじめ、老若男女を問わず鑑賞可能なジャンルの公演事業の充実を図りました。

【鑑賞推進事業実施状況】

	平成29年度	平成30年度
事業数	24回	18回
鑑賞者数	9,457人	7,624人

(6) 文化施設改修事業

施設の老朽化が進み、経年劣化による不具合が多くなっており、利用者の利便性を確保するため、優先順位により施設の改修工事等を行いました。

【青海総合文化会館施設改修事業】

内容	事業費	説明
ホール舞台機構設備修繕工事	18,986 千円	舞台機構設備操作盤、残響可変操作盤改修 舞台機構設備吊物制御盤更新 緞帳用インバータユニット改修ほか
排煙窓改修工事	2,688 千円	排煙窓改修 34 台

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1)文化活動支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間団体等が国内外で活躍する一流アーティスト等を自主的、主体的に招聘する事業をとおり、真の芸術文化に触れる機会を提供しているものの、近年は、実施団体が同一団体となる傾向があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を活用する団体を増やすため、事業のPR活動を積極的に行います。 		
(2)美術展覧会事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減や自己表現方法の多様化などにより、入場者数、出品数ともに減少が続く傾向ですが、芸術を身近に感じられる事業としてアンケート等で好感触を得ています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催曜日を考慮するほか、作品製作の裾野を広げるための活動を行います。 		
(3)相馬御風顕彰事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募人数、作品数ともに大きな変動はありません。学校とも連携していますが、指導者、地元選者が高齢化しています。相馬御風の業績周知という点では、顕彰事業の効果が小さいという課題があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体の指導者は後進の育成に取り組んでいますが、育成には時間を要することが見込まれます。副賞や作品集などを通じて、御風の業績の周知に努めます。 		
(4)文化協会支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員の積極的な事業参画を促すことでの事務局負担軽減の成果が安定してきています。事業はマンネリにならないよう努力しています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業と事務の効率化を行い、引き続き助言等を行っていきます。 		

(5)鑑賞推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため、幅広いジャンルで、老若男女が楽しめる鑑賞事業を継続的に毎年、企画、実施しています。 ・ 価値観の多様化、複雑化、さらにはインターネットの普及により動画などで著名アーティストの音楽や映像が手軽に見聞きできるようになり、文化ホールで生の音楽の演奏機会に触れることが少なくなっています。 ・ そのことが、多少、チケット販売にも影響していると考えられます。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主催する事業などでは、必要に応じて来館者へのアンケートを実施しており、今後も継続することによって、来館者のニーズ把握に努め、可能な限りニーズに沿った芸術文化の公演実施に取り組みます。 		
(6)文化施設改修事業	評 価	遅れている
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内4か所の文化ホールは、施設の老朽化、設備の経年劣化により、改修や修繕、更新が必要となっており、計画的な改修工事を実施すべく年次計画を立てて取り組んでいます。 ・ 近年、複数の修繕箇所が発生していますが、修繕には多額な費用を要することから、計画どおりに進んでいないのが現状です。 ・ 予防保全的な改修や修繕を実施することにより、施設の長寿命化を念頭に置いて計画するものの、財政計画との兼ね合いから計画どおりに進んでいない状況もあります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐用年数を経過した施設の予防保全的な修繕、改修を行うことを念頭に置きつつ、財政計画を考慮しながら優先順位を決めて、対応を進めます。 		

2 歴史・文化の継承と活用

- (1) 博物館施設の充実と活動の推進
- (2) 文化財の保存と活用
- (3) 伝統文化の継承と活用
- (4) 文化財収蔵・公開施設の整備

【基本方針】

ふるさと糸魚川に誇りを持ち愛する心を育むため、文化財や伝統文化の保存と活用を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (H30)	中間目標 (R1)	最終目標 (R5)
博物館・資料館入館者数※1	105,022人	122,000人	127,000人

※1 フォッサマグナミュージアム、長者ヶ原考古館、糸魚川歴史民俗資料館、能生歴史民俗資料館、相馬御風宅の入館者数

2 施策の方向

(1) 博物館施設の充実と活動の推進

- フォッサマグナミュージアムは、ジオパークの拠点施設として、糸魚川の貴重な自然資源や資料について研究、収蔵し、分かりやすく情報を発信します。
- フォッサマグナパークは、郷土の大地の成り立ちについて理解を深めるために欠かせない自然資源であり、地域の活性化も視野に入れて保存と整備を行います。

(2) 文化財の保存と活用

- 文化財の適正な保存管理を図るため、解説板及び標柱の整備や普及活動に努め、文化財に対する市民の理解を促します。
- 埋蔵文化財の適正な保存を図るため、調査成果を広く市民に公開し、埋蔵文化財に対する市民の理解を深めます。

(3) 文化施設の有効活用

- 伝統文化を次世代に継承するため、伝承活動や保存活動を支援します。

(4) 文化財収蔵・公開施設の整備

- 文化財を適正に保存、活用するため、展示等や管理運営方法を見直し、既存の施設を有効活用するとともに、施設整備を検討します。

3 事業内容（主要事業）

(1) 博物館活動推進事業

ア 展示活動

内容	会期・会場	説明
特別展「宝石の国展－宝石たちが翡翠の故郷へ－」	9月8日(土) ～10月28日(日) フォッサマグナミュージアム研修室、ふるさと展示室、常設展示室	講談社月刊アフタヌーン連載の漫画「宝石の国」（市川春子作）との協力企画。宝石の国キャラクターとそれらのモチーフになった鉱物標本などの展示。 共催：新潟県糸魚川地域振興局
特別展「翡翠展」	11月17日(土) ～2月3日(日) フォッサマグナミュージアム研修室、第1展示室	縄文時代から現在までのヒスイと人のかかわりに焦点を当て、県内外のヒスイの出土品の展示を通して、ヒスイの歴史とその利用を紹介。
環境省アクティブ・レンジャー「国立公園写真展」	2月7日(木) ～3月6日(水) フォッサマグナミュージアムふるさと展示室	国立公園で活動するアクティブ・レンジャー（自然保護官補佐）が撮影した写真展。 妙高戸隠連山、上信越高原、中部山岳の国立公園が対象。 主催：環境省信越自然環境事務所

イ 教育普及研究活動

内容	平成29年度	平成30年度
ジオパーク野外講座	8回 135人	7回 95人
ジオパーク講座	6回 108人	6回 104人
記念講演会	2回 73人	3回 309人
おもしろみゅーじあむ	8回 482人	12回 951人

内容	平成29年度	平成30年度
ジオパーク関係講座	14回 300人	16回 383人
学校教育との連携	57回 2,708人	54回 2,515人
公民館等への出前講座	65回 1,661人	66回 2,020人
調査研究活動（学会発表含む）	24回	30回

(2) フォッサマグナパーク整備事業

内容	事業費	説明
断層露頭地質精査業務委託	10,118 千円	現地調査、岩石試験及び評価、設計修正検討、露頭整備地質精査、学識経験者の意見収集 平成29年度からの繰越 (全体事業費 14,418,000 円)
断層露頭掘削基本工事	53,156 千円	L型擁壁工、アンカー工、鉄筋挿入工、植生基材吹付工、植生シート工、アスファルト舗装工、側溝工 平成29年度からの繰越 (全体事業費 82,756,080 円)
断層露頭外構展示工事	29,844 千円	断層露頭整備、遊歩道整備、案内標柱整備、野外解説板整備、地層逆転剥ぎ取り展示、剥ぎ取り展示擁壁 平成29年度からの繰越 (全体事業費 50,344,200 円)
断層露頭意匠標示工事	1,814 千円	ユネスコマーク標示、転落防止柵 平成29年度からの繰越
断層露頭安全施設整備工事	1,100 千円	転落防止柵、転落防止柵移設、断層露頭養生撤去 平成31年度へ繰越 (全体事業費 2,989,440 円)

(3) 国指定文化財整備事業

ア 名勝「おくのほそ道の風景地 親しらず」保存整備事業

(ア) サイン整備 新設5か所、改修5か所、撤去4か所

(イ) 転落防止柵整備 L=21.0m

(4) 埋蔵文化財発掘調査事業

試掘確認調査を11箇所で行いました。(押上地内えちごトキめき鉄道新駅、県営ほ場整備千本坂地区ほか)

【試掘確認調査】

	平成29年度	平成30年度
遺跡・地点数	10箇所	11箇所
調査規模	742㎡	346㎡

(5) 埋蔵文化財保存・活用事業

長者ヶ原遺跡について、3回の指導委員会を開催し、出土遺物の整理、図版等の編集を行いました。

(6) 文化財保護事業

【文化財管理・調査・継承】

	平成29年度	平成30年度
表示物	3件	4件
調査・記録	—	1件
助成事業	2件	4件

【ジオパーク歴史講座・市内遺跡発掘調査報告会】

	平成29年度	平成30年度
講座数	4講座	17講座
聴講者数	255人	535人

(7)企画展等

事業	入館・聴講者数	
	平成29年度	平成30年度
糸魚川歴史民俗資料館企画展	424人	416人
史跡相馬御風宅企画展	518人	456人
おててこ会館文化講演会	90人	104人
春の文化講演会	—	85人

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1)博物館活動推進事業	評価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究活動によって糸魚川市の科学的価値を高めるとともに、それらを市民に普及することができました。また、漫画「宝石の国」（市川春子作、講談社）と連携した「宝石の国展」の開催によって新たな博物館利用層を開拓することができ、さらに「翡翠展」の開催によって、ヒスイ文化を広く周知することができました。その結果、前年比102%の入館者数となりました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民にわかりやすい科学情報を提供する教育普及や展示活動を継続し、さらに他分野との連携による新たな視点を導入し、新たな博物館利用層を発掘します。継続的に新たな価値を生み出せるよう、他の大学や研究機関との連携により研究体制を強化していきます。 		
(2)フォッサマグナパーク整備事業	評価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 断層露頭の展示がリニューアルされ、来場者から好評得ており、入場者数が増加しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 枕状溶岩の展示改修の基本方向や根小屋を含めた回遊性の向上について、フォッサマグナパーク保存活用計画策定委員会で議論していきます。また、フォッサマグナパークの国天然記念物指定に向けた準備をしていきます。 		

(3) 国指定文化財整備事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね適切な管理とともに保存・活用も含め着実に着手しています。 文化財の適切な保存、管理、活用を図るため、各文化財に対応した保存活用計画の策定を推進します。 		
(4) 埋蔵文化財発掘調査事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発に伴う法令行為で、円滑な事業推進と成果の公開・活用を行いました。 埋蔵文化財の適切な保存のため、開発行為等の情報収集と円滑で効果的な事業を継続して実施します。 		
(5) 埋蔵文化財保存・活用事業	評 価	遅れている
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長者ヶ原遺跡の総括調査報告書の作成は、膨大な遺物と整理に従事する人員等の不足で作業の進行が遅れています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長者ヶ原遺跡発掘調査整理指導委員会の指導により、作業内容と作業工程を組み直し、令和3年度の刊行を目標に、遺物の整理、総括調査報告書の編集作業を進めます。 		
(6) 文化財保護事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の管理を適切に行いました。 文化財の周知・活用を目的とした講座等について、昨年度事業に加え、春の文化講演会を実施しましたが、市民の理解はまだまだ不足しています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内外への周知や活用について、適切な保存を基本としながらも、電子媒体等も活用し、より積極的な周知活動を図ります。 		
(7) 企画展等	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに購入、寄贈された所蔵資料等を適切に公開しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 所蔵資料のさらなる公開を企画し、市民の文化財に触れる機会の増や文化財への理解を深めます。 		

評価事業一覧

第1章 0歳から18歳までの一貫した子育てと教育の推進

施策	主要事業	評価	頁
1 妊娠出産支援と親子の健康	(1) 妊娠アシスト事業	おおむね順調	9
	(2) 妊産婦医療費助成事業	順調	9
	(3) 乳幼児すこやか事業	順調	9
	(4) 親子の絆応援事業	順調	9
	(5) めだか園運営事業	おおむね順調	9
	(6) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業	おおむね順調	10
	(7) 親子食育推進事業	順調	10
2 子育て支援の充実	(1) 特別保育事業	おおむね順調	14
	(2) 休日お助け保育事業	おおむね順調	14
	(3) 子ども医療費助成事業	おおむね順調	14
	(4) 病児・病後児保育事業	おおむね順調	15
	(5) 子育て支援センター運営事業	おおむね順調	15
	(6) ファミリーサポートセンター事業	おおむね順調	15
3 就学前教育の充実	(1) 子ども一貫教育推進事業	おおむね順調	18
	(2) マタニティスクール	おおむね順調	18
	(3) 親子の絆応援事業【再掲】	順調	18
4 質の高い学校教育の推進	(1) 子ども一貫教育推進事業	おおむね順調	23
	(2) コミュニティ・スクール推進事業	おおむね順調	23
	(3) キャリア教育推進事業	順調	23
	(4) 高等学校魅力づくり支援事業	おおむね順調	23
	(5) 学力向上支援事業	おおむね順調	24
	(6) 教職員資質・指導力向上事業	おおむね順調	24
	(7) いじめ・不登校等対策支援事業	おおむね順調	24
	(8) ふるさと糸魚川学習支援事業	おおむね順調	25
	(9) 教育補助員等配置事業	おおむね順調	25
5 学校等教育環境の整備	(1) 学校改修事業	おおむね順調	29
	(2) 小学校プール改修事業 グラウンド改修事業	おおむね順調	29
	(3) 暖房設備等改修事業	おおむね順調	30
	(4) 防犯パトロール事業	おおむね順調	30
	(5) 学校ICT環境推進事業	おおむね順調	30

第2章 生涯学習の充実

施策	主要事業	評価	頁
1 社会教育の充実	(1) 成人教育事業	おおむね順調	35
	(2) 青少年活動事業	おおむね順調	35
	(3) 成人式事業	順調	36
	(4) 家庭教育支援事業	おおむね順調	36
	(5) 図書館資料整備事業	おおむね順調	37
	(6) 絵本ふれあい事業	遅れている	37
	(7) 地区公民館・生涯学習施設整備事業	遅れている	37
2 スポーツ環境の充実	(1) スポーツ推進事業	おおむね順調	41
	(2) 相撲のまち糸魚川支援事業	おおむね順調	41
	(3) 体育団体等支援事業	おおむね順調	41
	(4) 有名選手招致事業	—	42
	(5) スポーツ施設整備事業	おおむね順調	42

第3章 文化の振興

施策	主要事業	評価	頁
1 芸術文化の振興	(1) 文化活動支援事業	おおむね順調	46
	(2) 美術展覧会事業	おおむね順調	46
	(3) 相馬御風顕彰事業	おおむね順調	46
	(4) 文化協会支援事業	おおむね順調	46
	(5) 鑑賞推進事業	おおむね順調	47
	(6) 文化施設改修事業	遅れている	47
2 歴史・文化の継承と活用	(1) 博物館活動推進事業	おおむね順調	52
	(2) フォッサマグナパーク整備事業	おおむね順調	52
	(3) 国指定文化財整備事業	順調	53
	(4) 埋蔵文化財発掘調査事業	順調	53
	(5) 埋蔵文化財保存・活用事業	遅れている	53
	(6) 文化財保護事業	おおむね順調	53
	(7) 企画展等	おおむね順調	53